

2026

観桜会

— 観桜華展と観桜茶会 —

さる3月28日(土)、時期はまさに春らんまん、練馬区向山庭園で、満開の桜の下、恒例の観桜会「観桜華展と観桜茶会」が、区民をはじめ多くの人々を集めて、盛大に開催されました(主催・向山庭園、協力・練馬区華道茶道連盟)。

絶好のお花とお茶日和であったこの日の会の一端を、ここにご紹介します。



【観桜華展】

今回は9作品(うち、7点が桜を花材)が美しく出展されました。



花展と茶会が華やかにくり広げられる間にも、主催社であるアゴラ造園の担当者が、庭園の整備管理にいそしんでいる光景が見られました。

このように日々手をかけられて、庭園はやがて、そう遠くない日に名園に成長していくことでしょう。



【観桜茶会】

絶好のお茶日和とあって、茶室では吉野棚を使ったお点前（席主：河野志翠、床：日々是好日）、和室では清風棚による立礼のお点前（席主：會田宗尚、床：室閑茶味清）が披露され、150名を越えるお客様が、満開のさくらの下、季節のお菓子とお茶を楽しまれました。

世界の各所では日々、ごくふつうの人々の暮らしが戦争によって理不尽にも脅かされ、奪われている事実を思うとき、生活のごく近くに、花や茶があることのかげがえのなさが、ひしひしと感じられます。このような行事が、いつまでも続くことを願わずにはいられません。

